

# 「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」をめざして

## 活力のある健康文化都市」をめざして



宗宮孝生町長 抱負を語る

町村合併に伴い三月六日に揖斐川町議会議員選挙と同時に  
行われた、揖斐川町長選挙で当選した宗宮孝生町長が  
揖斐川町のまちづくりについて語りました。

このたび、町民の皆さまをはじめ各方面の方々の力強いご支援とご協力を賜り、町政を担当させていただくことになりました。今回の選挙を通じて、住民の皆さまと直接ふれあい、生の声を聞かせていただくなかで、改めて皆さま方の町政に対する期待の大きさと町長の責務の重さを痛感いたしております。

新・揖斐川町は、揖斐川町、谷汲村、春日村、久瀬村、藤橋村、坂内村の六町村が対等合併して誕生した人口約二万七千人、総面積八〇三平方キロメートルと広大なまちであります。私は、この町村合併の協議に、旧揖斐川町長として関わってきたわけですが、合併協議により作成された合併まちづくり計画において、新町の将来像として掲げた「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」の実現に向けた取り組みを通じて、住民の皆さまが抱かれていますであろう合併に対する漠然とした不安や懸念を払拭し、住民の皆さまから「合併してよかった」と言っていただけのように、「元氣あるまちづくり」を進めていきたいと考えております。

そのために、教育、文化、福祉の

向上を図るとともに、とくに優先すべきは低迷する地域の活性化であります。改めて新町全体を見回してみますと西は滋賀県へ抜ける八草トンネルが開通し、北は福井県へ抜ける冠山トンネルが早期着工に向けて動きを加速させております。近い将来、この揖斐の地は、岐阜県の近畿圏、北陸圏への新たな玄関口として、人や物が行き交う交流の盛んな地域に変わってまいります。このため、新町の豊かな自然や伝統文化などの既存の地域資源と、日本一の徳山ダムなど新しい観光資源を西美濃夢回廊などでネットワーク化し、それぞれの魅力を高めることにより交流人口の一層の増加を促し、観光交流産業の振興を図る所存であります。

また米、麦、大豆をはじめ薬草や茶、自然食品などの特産物や、いびがわマラソンなどの健康に関する資源や文化も豊富であります。こうした地域資源と健康をテーマに組み合わせ、魅力を高めて提供するとともに、新たな資源の開発にも取り組み、既存産業の振興と健康産業の振興、企業の誘導による雇用の拡大を図る所存であります。

こうした地域経済活性化の基盤整